

船舶事故等調査報告書

平成22年7月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第52号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年3月18日 18時10分ごろ	
発生場所	大分県中津市中津港内 中津港北防波堤灯台から真方位225°740m 付近 (概位 北緯33°36.7' 東経131°14.7')	
事故等調査の経過	平成22年4月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 押船 <sup>ほうえい</sup> 豊栄丸、150トン 134557、福德海運有限会社</p> <p>B バージ ほうえい、長さ 78.43m、幅 20m、深さ 7m</p>	
乗組員等に関する情報	船長A、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A なし B 船首船底部擦過傷	
事故等の経過	<p>A船は、船長Aほか6人が乗り組み、海砂約200m<sup>3</sup>を積載したB船を押しながら、中津港内の公共岸壁に向けて約2ノットの速力で手動操舵により入航作業中、平成22年3月18日18時10分ごろ、B船の船首船底部が浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>A船は、B船を押しのまま、自力で着岸した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西北西、風速 約2.2m/s、視界 良好</p> <p>海象：海上平穏、潮汐 上げ潮の初期</p>	
その他の事項	B船の喫水 船首約5.4m、船尾約6.0m 水深 約5.7m	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、B船を押し中津港において入航作業中、港内の水深を適切に調査することなく航行したため、B船の船首船底部が浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長Aは、当時、大潮であったが最干潮時から約2時間経過していたため、乗り揚げることはないと思込んでいたものと考えられる。</p> <p>付近海域は、航行船の水流により、土砂が堆積していた可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、A船がB船を押し中津港において入航作業中、港内の水深を適切に調査することなく航行したため、B船の船首船底部が浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	

